

平成 28 年 8 月 30 日

各 位

会 社 名 ニューリアルプロパティ株式会社  
代表者名 取締役社長 吉田 賢司  
問合せ先 事業部部长 (海外担当) 江口 貢  
(TEL 03 - 3262 - 2005)

### 香港 MOM 事業参画のお知らせ

当社は、香港イースタン・ハーバー・トンネル (Eastern Harbour Crossing, 以下「EHC」) 道路部の運営管理事業 (以下「MOM 事業 : Management, Operation, Maintenance」) を香港特別行政区より受託された会社に、株式会社熊谷組との投資合弁会社を通じて参画することと致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 事業の経緯

EHC は CITIC 社 (中国中信股份有限公司) の関連子会社、株式会社熊谷組 (2003 年 10 月からは熊谷組の会社分割により新設された当社が熊谷組出資持分を承継) を中心とした共同事業により設立したニュー・ホンコン・トンネル社 (New Hong Kong Tunnel Company Limited 以下「NHKTC 社」) によって、1986 年 8 月 7 日から 30 年間に渡り、BOT (Built Operate Transfer の略語で施設建設、施設所有管理運営、事業譲渡を意味します。) 事業を行って参りました。

NHKTC 社は 2016 年 8 月 6 日の BOT 事業期間終了により、EHC 施設を香港特別行政区に返還致しましたが、香港特別行政区は EHC 施設返還後の管理運営を民間事業者へ委託するために、MOM 事業の公開入札を行いました。その結果、CITIC 社の 100% 子会社である CITIC パシフィック社が新設した管理運営会社 (Pacific Infrastructure Limited 以下「PIL 社」) が落札しました。

この度、予めから CITIC 社と熊谷組及び当社との間における合意に従って、熊谷組及び当社が共同で設立した投資合弁会社 Kumagai NRP International Limited によって、CITIC パシフィック社から PIL 社への出資持分の一部を取得するものです。

#### 2. 事業の対象となる物件

EHC は香港島クォーリベイ地区と九龍半島チャコウリン地区を結ぶ全長 2.2km、片側 2 車線計 4 車線の海底トンネルです。一日あたりの交通量は約 75,000 台であり、今後も香港経済を支える大動脈としての役割を期待されています。



香港東部海底トンネル（EHC）

### 3. 会計上の影響

当該投資に伴う当期業績に与える影響はありません。

### 4. 今後の展開

当社は、複数の海外 PFI（Private Finance Initiative）事業で培ったノウハウを生かし、新興国にて計画される PFI 事業へ展開すること、更に、パートナーであり、海外インフラ工事に実績の高い熊谷組及び中国政府と強いパイプを有する投資会社である CITIC 社との関係を深化させ、新規ビジネスに繋げること、また、香港特別行政区にて今後計画されている運営管理期間の満了する既存 PFI 事業への参画、既存並びに新設の MOM 事業に参画することで香港特別行政区における事業展開を図っていきたいと考えております。

以上